

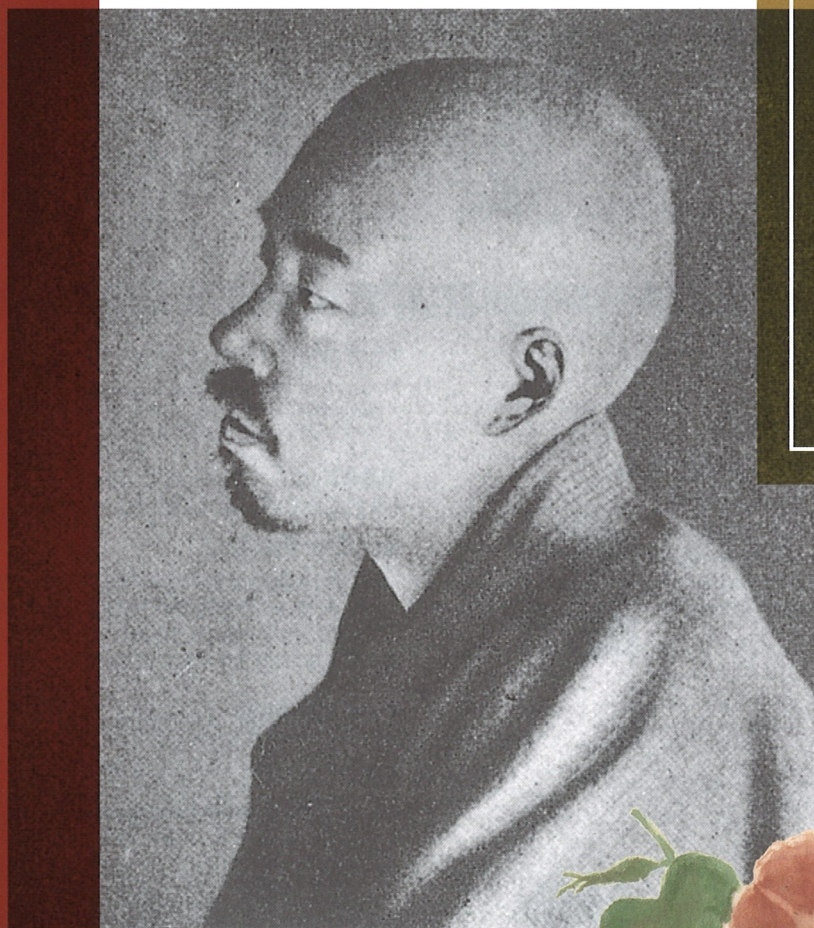


群馬県立土屋文明記念文学館
Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuchiya

開館30周年記念

第129回企画展

正岡子規とアララギ



2026 7.11 (土)
— 9.23 (水・祝)

開館時間 9:30~17:00(観覧受付は16:30まで)

休館日 火曜日(8月11日、9月22日は開館)、9月20日(日)※記念式典開催のため

観覧料 一般500(400)円/大高生250(200)円

※()内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

後援 朝日新聞前橋総局 毎日新聞前橋支局 読売新聞前橋支局 東京新聞前橋支局
産経新聞前橋支局 上毛新聞社 桐生タイムス社 NHK前橋放送局 群馬テレビ
FM GUNMA ラジオ高崎 まえばしCITYエフエム



HP



X



Instagram

ぐんま県民
カレッジ
連携講座

第50回
県民芸術祭
参加事業

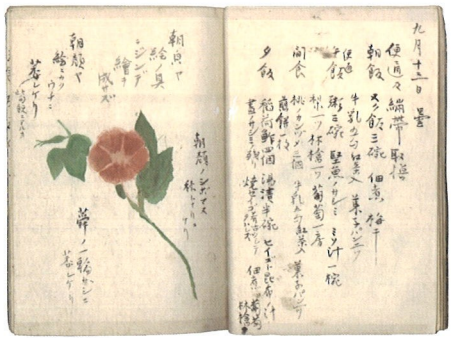
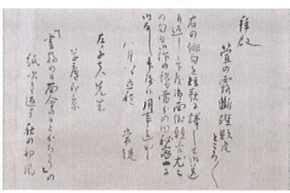
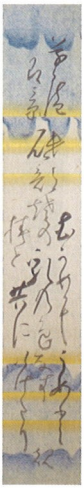
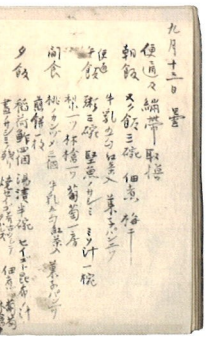
〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000
TEL 027-373-7721 FAX 027-373-7725

画像:正岡子規肖像 国立国会図書館「近代日本人の肖像」より
朝顔(「仰臥漫録」より) 虚子記念文学館提供

正岡子規とアララギ

明治31(1898)年、歌論「歌よみに与ふる書」を発表して短歌革新に乗り出し、写生論と万葉回帰を提唱した正岡子規(1867-1902)。没後、その遺志は伊藤左千夫らに引き継がれ、子規が率いた根岸短歌会は短歌結社アララギへと発展していきました。

本展では、近代文学に大きな影響を与えた正岡子規の生涯と作品を、貴重資料やエピソードとともに紹介します。また、伊藤左千夫をはじめ、島木赤彦、斎藤茂吉、土屋文明らアララギ歌人の作品を展示します。



1. 子規庵にて、病床の子規(明治31年)
画像提供: 松山市立子規記念博物館
2. 座机、子規庵保存会蔵
3. 正岡子規「仰臥漫録」 虚子記念文学館蔵
4. 正岡子規書簡伊藤左千夫宛(明治33年8月8日付)
下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館蔵
5. 正岡子規短歌短冊「草庵歌俳帖」より
「草庵即景 磁部焼の乳の色なす花かめにうめと椿と共にいけたり」
松本市美術館蔵

関連行事 ※参加には当日の企画展観覧券が必要です。

記念講演会【抽選150名・申込締切7月22日(水)17:00まで】

8月2日(日) 14:00～15:30
「子規と貫之 —21世紀からの再評価—」

講師: 坂井修一氏(歌人・東京大学副学長・附属図書館長)
昭和33年、愛媛県松山市生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。歌集『ラビュリントスの日々』(現代歌人協会賞)、『ジャックの種子』(寺山修司短歌賞)、『望楼の春』(遼空賞)、『鷗外の薈』など著書多数。現在「かりん」編集人、現代歌人協会理事長、東京大学副学長・同大学附属図書館長・同大学名誉教授等。



短歌講座【先着150名・申込受付7月11日(土)10:00から】

※当日、講師による短歌の講評があります。
短歌の講評を希望する方は、申込時に自作の短歌一首を記載してください。
(先着25名・申込締切8月19日(水)17:00まで)

9月5日(土) 14:00～15:30
「クイズで学ぶ短歌の作り方」

講師: 田村元氏(歌人)
昭和52年、群馬県勢多郡新里村(現桐生市)生まれ。平成11年「りとむ」入会。「上唇に花びらを」(歌壇賞)、第一歌集『北二十二条西七丁目』(日本歌人クラブ新人賞)。令和3年度NHK短歌選者。現在、現代歌人協会理事、『りとむ』編集委員、土屋文明記念文学館自主学習会講師。



俳句講座【先着150名・申込受付6月22日(月)10:00から】

※当日、講師による俳句の講評があります。
俳句の講評を希望する方は、申込時に自作の俳句一句を記載してください。
(先着50名・申込締切7月15日(水)17:00まで)

7月26日(日) 14:00～15:30
「正岡子規と現代俳句」

講師: 鈴木章和氏(俳人)
昭和30年、静岡県磐田市生まれ。平成4年、平井照敏主宰の「楳」入会。句集に、『月の客』、『夏の庭』、『野を飾る』など。これまで、NHKラジオ「文芸選評」選者等を務める。現在、「翡翠」主宰、NHK学園俳句講座専任講師、土屋文明記念文学館自主学習会講師。



申込方法 記念講演会・俳句講座・短歌講座

- 当館ホームページ内「イベント申込フォーム」か往復はがきにてお申し込みください。
- イベントごとに申込が必要です。申込はイベントごとにお一人様1回限り有効です。
- 8月2日の記念講演会の抽選結果は、講演会の10日前を目安に返信します。
- 個人情報適切に管理し、各イベントの目的にのみ使用します。

【往復はがきの書き方】

〈往信表面〉〒370-3533 高崎市保渡田町2000 土屋文明記念文学館・イベント係
 〈往信裏面〉①開催日・イベント名 (例「8/2講演会」)
 ②申込者(代表者)の住所、氏名(ふりがな)、電話番号
 ③申込人数(4名様まで申込可)
 ④俳句講座、短歌講座での講評希望者は、自作の俳句、短歌を記入する
 〈返信表面〉申込者(代表者)の郵便番号、住所、氏名
 〈返信裏面〉何も記入しない

展示解説【申込不要】

7月11日(土)、8月9日(日)、9月13日(日) 14:00～(各回30分間程度)



「文豪とアルケミスト」タイアップイベント

- ・ 正岡子規や伊藤左千夫ら企画展に登場する文豪の等身大パネルを設置
- ・ クイズ参加者に、オリジナルしおりをプレゼント(なくなり次第終了)

次回企画展 第130回企画展 三島由紀夫のアオハル — 中島飛行機からの出発 — 令和8年10月17日(土)～令和9年2月7日(日)

交通案内



■ 自家用車

関越自動車道前橋ICから約15分/伊香保温泉石段街から約30分

■ 公共交通機関 (下記以外の方法、また、詳細はホームページをご確認ください。)

高崎駅から

- タクシー: 西口から約20分
- バス: 群馬バス「榛東村役場」(上郊口・井出経由)行→「保渡田」下車徒歩3分(開館時間帯 平日2本・土日祝日運休)

前橋駅から

- タクシー: 北口から約25分
- バス: 関越交通バス「土屋文明文学館」行→終点「土屋文明文学館」下車(平日・土日祝日とも2時間に1本程度)

※バスの時刻については、バス会社または当館までお問い合わせください。
●群馬バス高崎駅前案内所 TEL 027-323-1533 ●関越交通前橋営業所 TEL 027-210-5566



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuyiwa
〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 TEL 027-373-7721 FAX 027-373-7725